

## 平成30年度の学校評価

本年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識の習得に加え思考力、判断力、表現力を育成する授業改善を行ない、高い志を持って主体的に進路実現に向かう生徒の育成を図る。</li> <li>生徒が互いに尊重し合う学校環境を整えるとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動の充実を図り、地域や保護者に一層信頼される学校づくりを目指す。</li> <li>教職員一人一人がメンタルヘルスの保持に努めつつ自己の能力を十分に発揮し、また組織としての教育力が向上するよう業務の適正化を図るなど、明るく活力に満ちた協力的な職場環境をつくる。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
式典行事と 防災  (総務部)	式典参加意識の向上	(1)朝会や式典に自ら参加しているという意識を持たせることによって、式典等を充実させる。	(1)朝会や式典において自ら参加しているという意識を育む。
	防災についての意識向上	(1)防災避難訓練と東海地震防災シミュレーションなどを通して、防災意識を向上させる。	(1)防災避難訓練を通して災害時の行動を確認させる。東海地震防災シミュレーションにおいて帰宅連絡などをさらに徹底させ、安全確認の方法を確認させる。
学習指導  (教務部)	授業改善を継続し、指導力を向上させ、「わかりやすい授業」を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)授業改善に向けての公開授業、研究授業及び授業アンケートを実施する。</li> <li>(2)主体的・対話的で深い学びを通して、思考力、判断力、表現力を育成する。</li> <li>(3)図書委員会活動の一層の充実と図書館利用の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)公開授業及び研究授業を実施し、教科指導力の向上に向けて取り組む。授業アンケートを活用し授業改善を図る。</li> <li>(2)単元に1回以上、生徒の発言、議論を重視した授業を展開する。</li> <li>(3)ブックパーティーなどの企画を図書委員会が主体的に運営するなど、図書館での活動がさらに魅力あるものとなるように努める。</li> </ul>
生活指導  (生徒指導部)	安全で規律ある生活習慣の維持と社会のルールを守る指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)公共の場でのマナーや交通規則を守る効果的な指導の検討・実施</li> <li>(2)挨拶の励行</li> <li>(3)規範意識を高める指導の効果的な実施</li> <li>(4)教職員・生徒・保護者に対し、いじめ防止対策の周知徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)立ち番・巡回指導を適切に行ない、生徒への注意喚起を積極的に行なう。</li> <li>(2)様々な機会を利用し、積極的に挨拶をする習慣をつけさせる。</li> <li>(3)学校のルールを周知徹底し、全職員による平素からの指導を充実させる。</li> <li>(4)いじめの定義やそれに関する法の趣旨・内容を周知徹底し、いじめの防止に努める。</li> </ul>
進路指導  (進路指導部)	進路に関する情報の収集・発信・共有を行い、高い志を持って進路達成に向かう生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)2020年度の大学入試改革についての情報を収集し、具体的な指導方針を決定する。</li> <li>(2)全国の国公立大学に関する情報を積極的に発信していく。</li> <li>(3)夏季休業中の高大連携や保育・看護体験実習への積極的な参加を呼びかけ、キャリア教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)各学年・各教科と情報を共有し、計画的な指導方法を考える。</li> <li>(2)教室に全国の国公立大学の学校案内を置く等は継続していき、さらに多くの情報を生徒に提供していく。</li> <li>(3)進路行事において、事前・事後の指導に力を入れることで、次に繋がる指導を実践していく。</li> </ul>
生徒会及び 部活動  (特別活動部)	学校行事・部活動・ボランティア活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化的、体育的行事において、学年間の連携を深め、生徒会に自主的活動を促す。</li> <li>(2)定着率向上を図るために定期的に活動状況調査を実施し、生徒の実態の把握、指導に努める。</li> <li>(3)ボランティア登録者数の増加に努め、生徒会、部活動生徒の積極的参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)適切な助言を行い、生徒会執行部の自主的活動を支援する。</li> <li>(2)部顧問、HR担任間の連携を深め、生徒の活動状況の把握に努め、指導にあたる。</li> <li>(3)より多くの生徒が参加できるように、地域との連携を密にして日程調整を行う。</li> </ul>
保健・環境 美化  (保健厚生部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)教育相談活動の推進</li> <li>(2)健康管理活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)教育相談室の有効活用と教育相談委員会活動の充実</li> <li>(2)健康観察の有効活用と健康課題の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)教育相談室の柔軟な運用 教育相談委員会・学年会の連携</li> <li>(2)健康観察を活用した健康問題の早期発見と対応 本校生徒の健康課題に対する保健指導の充実</li> </ul>

保健・環境 美化  (保健厚生部)	(3)学校環境の点検と 整備	(3)安全点検の徹底と清掃 活動の充実	(3)日常点検の推進と危険箇所の発見と対応 効果的な清掃への取組
学校関係者評価を実施する主な評価 項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、判断力、表現力や主体的に学ぶ態度の育成ができたか。またきめ細かな指導によって進路意識の高揚と進路希望の確かな達成ができたか。</li> <li>・いじめがなく他者を尊重し協力的に学ぶ環境を整え、地域や保護者に信頼される学校づくりができたか。</li> <li>・教職員のメンタルヘルスが適切に保持されつつ、職員間の協力体制や業務の適正化が確立され、協働して業務に当たることができたか。</li> </ul>	

## 前年度の学校評価

### ア 自己評価結果等

前年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に即した授業改善を継続し、高い志を持って進路実現に向かう生徒の育成を図る。</li> <li>・学校行事や部活動、ボランティア活動の充実を図り、その教育活動や成果などを積極的に発信し地域や保護者に一層信頼される学校づくりに努める。</li> <li>・教職員一人一人が自己の能力を十分に発揮し、組織としての教育力が向上するよう、明るく活気に満ち、協力的な職場環境づくりに努める。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
式典行事と防 災  (総務部)	式典のさらなる充実	(1)朝会や式典の円滑な運営と充実	(1)朝会・式典について、学年や関係分掌と連携して行い、より充実したものとなった。さらに生徒の意識を高めたい。
	災害対応力の定着	(1)防災訓練と東海地震防災シミュレーションなどの深化	(1)生徒職員の安全を考慮しつつ、災害に即応した防災避難訓練を行い、災害時を考えた東海地震防災シミュレーションを行った。さらに帰宅連絡の徹底などに努めたい。
学習指導  (教務部)	新学習指導要領に即した授業改善の継続及び評価の一層の充実	(1)授業改善に向けての公開授業及び研究授業の実施方法の点検、確認 (2)「愛知の教育ビジョン2020」を意識した教育活動の充実	(1)公開授業及び研究授業の実施により教科指導力向上の取組が進展し、知識及び経験の共有化が進んだ。 (2)ICTを活用した研究授業やグループワーク型の研究授業が行われ、学び合い高め合う教育活動の充実が図ることができた。
	読書活動の充実	(1)図書委員会活動の一層の充実と図書館利用の活性化	(1)ブックパーティーをはじめとする図書委員会による活動が盛んに行われ、図書館利用の活性化につながった。
生活指導  (生徒指導部)	社会やルールやマナーを守る指導の充実	(1)交通ルールや公共の場でのマナーを守る指導の効果的な実施  (2)挨拶の励行	(1)学校近辺での交通マナー等は概ね良好であったが、学校から離れた場所では不十分な状況が見られたので、今後も継続して意識の向上に努めたい。 (2)様々な場面できちんと挨拶ができる生徒が増えた。
	基本的な生活習慣の定着	(1)時間を守る指導や身だしなみ指導の適切な実施	(1)遅刻指数は昨年とほぼ同じ。身だしなみも良好な状態を維持することができた。今後も全職員の共通理解のもと、指導を継続していく。
進路指導  (進路指導部)	高い志を持って進路達成に向かう生徒の育成	(1)夏季休業中の高大連携や保育・看護体験実習への積極的な参加への呼びかけによるキャリア教育の充実 (2)低学年からのきめ細やかな進路指導の充実と全国の国公立大学にチャレンジしていく生徒の育成	(1)今年度も、夏季休業中の高大連携や保育・看護体験実習への参加生徒は非常に多く、生徒の感想からも充実した体験ができたと思われる。  (2)教室に全国の国公立大学の学校案内を置いて自由に閲覧できる環境を整えたり、他地区の国公立大学の紹介プリントを作成したりして、生徒の進路意識の向上に繋がった。
	進路資料の効果的な活用	(1)「進路の手引き」のワークシートの活用による、進路意識の向上と望ましい職業観の育成	(1)ここ数年で徐々に『進路の手引き』の活用場面は増えてきたが、さらに活用しやすい内容・使用法を考えていきたい。
生徒会及び部活動  (特別活動部)	学校行事及びボランティア活動の充実	(1)文化的、体育的行事において学年間の連携を深め、生徒会の主体的な企画、準備、運営の促進・ボランティア登録者数の増加に努め、生徒会、部活動生徒の積極的参加の促進	(1)ボランティア登録者を確保し、地域からのボランティア要請に応える。また文化的、体育的行事の準備期間におけるスマートフォン使用許可については、学年、指導部と十分協議し、生徒への周知徹底を図る。

生徒会及び部活動 (特別活動部)	部活動の充実	(1) 定着率向上を図るための定期的な活動状況調査の実施 (2) 不参加生徒の把握と指導	(1) HP を活用するなど活動実績を広く発信し、広報活動の充実を図る。 (2) 定期的な活動状況調査を行い、不参加生徒の実態把握に努め指導に当たる。
保健・環境美化 (保健厚生部)	教育相談活動の推進	(1) 教育相談室の充実と有効活用	(1) 環境の整った教育相談室で、安心して生徒、保護者、職員に利用されている。教育相談委員会の記録ファイルは情報共有のために有効に機能している。
	生徒の健康状態の把握と記録の徹底と活用	(1) 朝の健康観察記録の有効活用（教育相談との連携）	(1) 毎朝の健康観察により、全校生徒の健康状態を早期に把握することができた。教育相談と連携を取ることもできた。
	学校環境の点検と整備	(1) 安全点検の徹底と日常の清掃活動充実	(1) 毎月実施することで、迅速に対応できている。修理が必要な箇所については、修繕願で迅速に対応していただいている。また生徒の清掃への取り組みをより活発にするために清掃点検、ワックスがけの実施方法を変更した。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が学習活動や学校行事、部活動、ボランティア活動に積極的に取り組み、自己肯定感を高められている。また進路目標の実現においても、一人一人の適性や能力に応じたきめ細かな指導を行った結果、成果をあげることができた。</li> <li>今後の課題としては、自ら問題を発見しその解決に取り組み、目標に向かって自発的に努力できる生徒の育成を、引き続き教職員一丸となって推進していきたい。そのために指導法の研究や授業改善を更に進めていく必要がある。こうした学校の姿を保護者や地域の方々に見ていただき、地域に開かれた学校として信頼や絆の構築に一層努めたい。</li> </ul>		

## イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>新指導要領に即した授業改善とキャリア教育の質的充実について</li> <li>きめ細かな進路指導による、進路意識の高揚と進路希望の確かな達成について</li> <li>「信頼される学校づくり」の更なる促進に向けての積極的な情報発信について</li> <li>協働して業務に当たることができる職員間の協力体制について</li> </ul>
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点目標について学校全体で取り組んだ結果、学習活動だけではなく部活動や学校行事、地域のイベントにも生徒を積極的に取り組ませることができ、満足感や達成感を与えられている。</li> <li>キャリア教育の観点に立った系統的な進路指導を行った結果、多くの生徒が高大連携事業や保育・看護体験実習に参加し、自己の生き方・在り方について深く考えさせることができた。生徒の進路実現に関しても保護者や地域から信頼を得られている。</li> </ul>
今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学だけでなく、大学卒業後の職業選択（就職）に向けて目標意識を持たせられるよう、キャリア教育のより一層の充実を推進していきたい。</li> <li>アクティブラーニングの効果的な導入など、新指導要領に示された学力観に即した授業改善を更に研究・実践していく必要がある。</li> </ul>
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「神守いきいきウォーキング」など、地域のボランティア活動に積極的に参加してもらい、感謝している。</li> <li>学習活動の充実のみに偏らず、部活動への積極的な参加を促すなど文武両道の生徒指導に対して、保護者は安心感を抱いている。</li> <li>今後も魅力のある、輝く授業を目指して行ってほしい。自分の考えが発表できるような授業を今後増やして行ってほしい。</li> <li>地域と連携した防災への取組や本校の実状に応じたインターンシップの在り方を探るなど、社会情勢の変化に対応した検討が必要である。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成・・・学校評議員 5 名、PTA 副会長 2 名</li> <li>評価時期・・・3 月上旬</li> </ul>